

Column

# EXILE USA 新連載・DANCE EARTH-JAPAN vol.1

「日本で踊ろう! DANCE EARTH-JAPAN! START!!」日本の文化や風土をダンスで探る、EXILE USA のプロジェクトを、ダイジェストでレポートします

## 出雲での、神様への奉納のダンス

EXILE USAのライフワークである「DANCE EARTH PROJECT」。そこから、日本全国の祭りの「踊り」に参加し、日本の素晴らしい文化を伝えたい、という思いで始動したのが「DANCE EARTH JAPAN」。その記念すべき旅の始まりは、日本有数のパワースポット、鳥根県の出雲。神話の舞台として名高いこの地で音曲の神様として崇められる松江市の美保神社に、USAがダンスを奉納するという願いがかなえられた。その日、松皮葺屋根(ひわだぶきやね)の社殿に足を踏み入れると、まるで神様がUSAを歓迎するように、そよ風がなびいた。

地元の太鼓奏者を従えて、いよいよ音曲の神様に自分の踊りを披露するUSA。一度ゆっくり目を閉じ、太鼓の弾けるような音に合わせ渾身力と感性とで、即興のダンスを奉納。音曲の神様とのセッションは、神聖にして情熱的なひと時となった。

## 富良野、北海へそ祭り

北海道富良野市。この町で毎年7月に行われる「北海へそ祭り」は、富良野に北海道の中心標が立っていることにちなんだユニークな祭りで、市民が身体を中心、へそに思い思いに顔を描いて、それを面白おかしく見せながら踊るもの。「いいじゃないか、いいじゃないか、いいじゃないかーいっ!」

というかけ声のもと、傘を振り、顔を描いた腹をくねらせて踊り歩く参加者たち。踊る人、見る人すべてを幸せにするユーモラスな光景には、この地を開拓してきた富良野市民のフロンティア精神と、「北海道のへそ」としての街の誇りが込められている。

白熱の祭りのあと、USAは、富良野のシンボル、ラベンダー畑を訪れた。その美しい紫色と香りに、心も身体も満たされるよう。「自然が自分のカラダをリフレッシュさせ、ボクのダンスに力を与える。DANCE EARTH VILLAGEにもこんなラベンダー畑を作ってみないか!」と、USA。土地の風土と人と、そして祭りがパワーを与えてくれる限り、日本の踊りをめぐるこの旅は、続く。



1. 音曲の神様として知られる松江市の美保神社にダンスを奉納。厳かなる、神様とのセッション。2. 富良野北海へそ祭り。へそに「図鑑」と呼ばれる顔の絵を描き、それをくねらせて踊る。3. USAが参加した地元の若者のチーム「青年団」は、この年の団体賞を獲り、衣装にも気合を入れて参加。4. 富良野のラベンダー畑。五感を澄まして風土を感じることで、その土地の踊りを深く知ることができる。

profile 1977年神奈川県出身、EXILEの1stリーダー。2006年にDANCE EARTH PROJECTを立ち上げ、ダンスを通して世界の文化を知り、人々とコミュニケーションする旅を続けている。2011年、国内に自給自足、自然のダンスフロアの実現を目指す「DANCE EARTH VILLAGE」作りがスタート。そして、ダンスを通して日本のルーツを探るべく、日本の祭りやダンスを旅するプロジェクト。旅の軌跡をまとめた書籍が8月に発売予定。を、舞台、映像、書籍と様々なメディアを通して発信中。

DANCE EARTH-JAPAN EXILE USA が、自らのルーツを探るべく、日本の祭りやダンスを旅するプロジェクト。旅の軌跡をまとめた書籍が8月に発売予定。http://www.dance-earth.com/

Cinema

## シンガーソングライターmiwaが、映画『マエストロ!』で、初ヒロインに挑戦!

シンガーソングライターのmiwaが2015年公開の映画「マエストロ!」にヒロインとして出演する。「マエストロ!」は、第13回手塚治虫文化賞にノミネートされた、ささあきら作の同名の音楽マンガを、小林聖太郎が監督し映画化したもの。物語は、スポンサーの倒産によって解散を余儀なくされたオーケストラの元団員のもとに、謎の指揮者・天道が現れ、彼のもとで演奏会での上演を目指していく団員たちを描く。天道に

は西田敏行が、破天荒な天道に反発するコンサートマスター・香坂役には松坂桃李、そしてmiwaは、ヒロインである天才フルート奏者のあまね役で登場。miwaの初めての女優体験、しかもオーケストラというドラマチックな背景でフルートを吹く姿が見られる。いつもと違うmiwaの魅力が楽しめる、ファンには待ちきれない作品だ。



2015年全国ロードショー ©2015「マエストロ!」製作委員会 ©ささあきら/双葉社 http://maestro-movie.com/

GRAND MARBLE JOURNAL ステージ、アートイベント…、グランマールは「文化の創造」をサポートしています。

## 京都が舞台の写真フェスティバル 第2回京都国際写真祭KYOTOGRAPHIE

京都の街を舞台に繰り広げられる国際写真祭、第2回KYOTOGRAPHIEが2014年5月に開催された。今年のテーマは「Our Environments~私たちを取りまく環境」。家族の風景から、火星の表面を撮影し宇宙規模の環境をとらえた作品まで、写真を通してさまざまな環境を考える内容となった。京都駅ビル最上階の会場には、世界中の都市の俯瞰写真をコラージュしてきた西野社平の作品が展示され、室町の古い京商家「無名舎」を会場にしてマグナムのドキュメンタリー写真家、ワーナー・ビショップの50年代の日本を撮影した作品が展示されるなど、京都のロケーションと内容が生かされた展示だった。



Royal White Tiger © Tim Flach



CARMEN, early 1950's © Lillian Bassman

## 歌舞伎、能、オペラの華麗なる競演 市川海老蔵 特別公演「源氏物語」

平安時代に女流作家、紫式部によって書かれた「源氏物語」。これまで数々の舞台や映像に描かれてきたこの古典文学の名作が、能、歌舞伎、そしてオペラという和洋の芸術を織り交ぜたまったく新しい演出によって、歌舞伎界の若きスター、市

川海老蔵を主演に上演された。この舞台では、市川海老蔵が、恋多き男・光源氏を、亡き母の面影と真実の愛を求めて闇の世界をさまよう孤独な1人の男として切々と演じ、その心の声を、ニューヨークメトロポリタン歌劇場をはじめ、国際的に活躍するアンソニー・ロス・コンスタンツォが、美しいカウンターテナーで歌い上げた。古典と現代、日本とヨーロッパ、時空を超えた愛のしらべに、観客は陶酔に包まれた。



「源氏物語」は2014年4月5日~21日まで京都・南座で上演された。



## 飲酒運転撲滅に向けて、熱い誓いを SDD(STOP DRUNK DRIVING PROJECT)

FM OSAKAが発足させた SDD(STOP DRUNK DRIVING PROJECT)は、音楽の力強いメッセージで、「飲酒運転のない世の中」を次世代につなごうとする啓発プロジェクト。趣旨に賛同するミュージシャンたちが、このキャンペーンにメッセージを寄せ、特別番組がラジオとテレビでオンエアされたほか、同プロジェクトの集大成として、1万人のリスナーとともに飲酒運転撲滅を誓う「LIVE SDD」も開催。このほかにも、SDD啓蒙グッズやステッカーを通じて、キャンペーンのメッセンジャーとして多くの人たちがこのプロジェクトに参加した。アーティスト、DJ、リスナーも一体となって発信した熱いメッセージ。飲酒運転撲滅に向けた大きなアクションとなった。GRAND MARBLEは2013年度から、同プロジェクトにパートナーとして参画している。



開催は2014年2月15日 @大阪城ホール 「LIVE SDD 2014 Official Photo」